月刊 あなたにこの本を！ 平成 23 年 9 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

絵でみる江戸の町とくらし図鑑
ー時代小説のお供にー

善養寺ススム　絵・文　江戸人文研究会　編
廣済堂あかつき株式会社出版事業部
1470 円　(0012300166)

ジャンル ： 知識・教養を深める

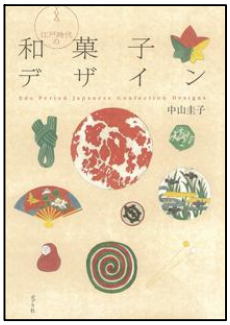
江戸の人々の生活を「江戸の町」「御役人と刑罰」「庶民の生業」などの章立てで、上野の貸本屋善右衛門を案内役にしたてて解説する。当時の錦絵や文献をもとに描かれた全ページにわたるカラーイラストからは、今にも人々の話し声が聞こえてきそうだ。また江戸の三火消すべての纏(まとい)と袢纏(はんてん)の一覧や大名行列の全体図なども事細かに描かれ、資料的にも見応えがある。時代小説を読む傍らに置いて読んでも、また単独で読んでも楽しい江戸図鑑。〔210.5〕

アフリカ四半世紀の物語を撮る

中野智明　写真　沢井俊光、金子　大　編著
柘植書房新社　2100 円　(0012274926)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

本書は、フォトジャーナリスト中野智明の写真と、彼と共に取材をした共同通信の記者たちの記事をまとめたアフリカ現代史である。新年を待つ祭りで歌って踊る少女や、「忘れることはできないが、許すしかない」と語る内戦で手足を切断された市民など、この地で生きる人々の姿を伝えている。その喜びは温かな気持ちにさせ、悲しみは胸に迫り深く考えさせられる。四半世紀におよぶ苦難の道のりと、乗り越えようとする力、美しさまでもが伝わってくる。〔302.4〕



江戸時代の和菓子デザイン=Edo Period Japanese Confection Designs

中山圭子　著
ポプラ社　2415 円　(0012282684)

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

四季折々の自然風物を美しく形づくる和菓子は、江戸時代半ばに生まれた。当時の菓子のデザインは徳川家御用菓子屋の絵図帳に色鮮やかに伝え残されている。著者は、これをモチーフごとに分類し、菓子の名前の由来や意匠のおもしろさ、製法について解説する。梅ひとつとっても、雪に覆われた紅梅や闇に浮かぶ白梅など表現の多様さに驚かされる。舌だけでなく目でも味わう小さな和菓子に、豊かな日本文化が凝縮されている事がよくわかる。英文の解説つき。〔383.8〕

復興の道なかばで　ー阪神淡路大震災一年の記録ー

中井久夫　著
みすず書房　1680 円　(0012293099)

ジャンル ： 現代社会を見つめる

阪神淡路大震災当時に創設された「こころのケアセンター」の責任者として、精神科医の著者が、震災後一年間の活動をつづった記録。仮設住宅でのアルコール乱用者や自殺者の増加、救援者の心的ストレスの問題など、被災者だけでなく、様々な人たちへのケアの重要性も訴える。官主導ではなく民間主導での精神科医のネットワークの確立など、この災害での活動や経験は、今回の東日本大震災の復興に向けていくつかの指針となるはずだ。〔369.3〕

どうすれば「人」を創れるか=How Can We Create a Human ANDROID? ーアンドロイドになった私ー

石黒　浩　著
新潮社　1470 円　(0012284357)

ジャンル ： 知識・教養を深める

ロボット研究で知られる著者は、遠隔操作で対話するアンドロイドを開発した。カフェで客と会話させる、舞台で演技させるといった実験から、人々の感情の動きや反応を考察する。ロボットとわかっていても、接する人は親しみを感じ、操作する人は自分の体のように思えてくる。実験を進めるうちに、ロボットと人間の境界はあいまいで、人は思うほど自己を認識していないことに気づかされる。ロボットから「人とは何か」を探る新たな視点に目が開かれる。〔501.9〕

言葉の誕生を科学する

小川洋子、岡ノ谷一夫　共著
河出書房新社　1260 円　(0012278229)

ジャンル ： 知識・教養を深める

言葉を持つのは人間だけであり、言葉の起源は今なお謎に満ちている。名詞をつなげて言葉ができたのではなく、歌でコミュニケーションする鳥のように、歌から言葉が始まったと説く研究者の岡ノ谷。言葉の豊かさを信じて小説を書く小川。二人の対談は、動物の生態を手がかりとしながら、人間の言葉の誕生、言葉によって形成された心のありように肉迫する。鳥の歌や赤ちゃんの産声から言葉と神の関係まで、考察の展開がスリリングで一気に読ませる。〔801〕

みちくさの名前。　ー雑草図鑑ー

吉本由美　著
ＮＨＫ出版　1785 円　(0012278371)

ジャンル ： 自然・環境を考える

植物の名前をなかなか覚えられないという著者が、環境カウンセラーや園芸家などの専門家と散策しながら、草花の特徴や見分け方を聞いた対談集。バランスをとるためにらせん状に花をつけるネジバナや、独特の臭いのあるヘクソカズラなど、植物には特徴をとらえた名前がついていることが多い。好奇心旺盛な質問に専門家が雑学を交えて答え、植物を見るときのポイントが分かる。生き生きとした会話に、一緒に「みちくさ」を楽しんでいる気持ちを味わえる。〔470.4〕

日本人の坐(すわ)り方

矢田部英正　著
集英社　756 円　(0012238205)

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

千利休の時代、茶道の正式な坐り方は立て膝(ひざ)だった。著者は、昔の絵画、彫像、写真から、武士のヤンキー坐り、貴族や僧の立て膝など日本人の様々な坐り方を探り出す。また、正坐(せいざ)が正しい作法となったのは近代以降であることを示し、坐り方には服装や住環境、社会の変化が影響することを明らかにする。巻末には様々な坐り方のイラストのガイドもあり、「床に坐る」という行為を通して日本人の身体が育んできた文化の豊かさに触れることができる。〔383〕